

～ All for one, One for all. ～

# 光 の 家

THE LIGHT HOUSE FOR THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設  
東京光の家会報

— 194 号 —

2017 年 11 月 15 日発行

わたしたちは神の作品であつて、良い行いをするように、キリスト・イエスにあつて造られたのである。神は、わたしたちが、良い行いをして日を過ごすようにと、あらかじめ備えて下さったのである。

エペソ人への手紙

第二章 一〇節



「2017 愛のサウンドフェスティバル」Life ～いのち～ 於：ひの煉瓦ホール（日野市民会館）

## 会報五言

- 一・地震、台風、洪水等々による災害続出。まるで地球が怒り狂っているようだ。何に怒っているのだろうか。
- 一・天災か、人災か。何れであれ災害によって苦しむのは人間である。多分、地球も苦しんでいるかも。
- 一・「共生」。幸せも不幸も、喜びも悲しみも、困難も共に分かち合う思想なり。喜ぶ者と共に喜び、悲しむ者と共に悲しむ。
- 一・福祉における自立：どんなに障害が重くとも、まず自分の足で立ち、一歩でも二歩でも自ら歩もうとする精神の涵養第一。第二、受けて感謝を忘れないこと。
- 一・人生とは不思議なもの。思いが届かないことあまりにも多し。されど思いを越えた恩恵も多し。事ごとに感謝して生きるのが最高。

# 地域共生社会の実現に向けて

日野市社会福祉協議会 会長 奥住 日出男



今日『隣近所』というコミュニ

ニティが消えつつあるように感じています。かつては地域の相互扶助や家族同士の助け合いなどにより、人々の暮らしが支えられていました。日常生活における不安や悩みを相談できる相手や、世帯の状況変化を周囲が気づき支えるという人間関係が身近にあり、子育てなどで支援が必要な場合も、「制度」の力ではなく、「人」の力で担っていました。まさに地域共生社会でした。

しかし、高度成長期を経て

社会も人々の生活も大きく変化し、地域や家族が果たしてきた役割もだんだんと薄れてきています。特に地域での人と人とのつながりが薄れてきていることは負の部分だと思っています。このような状況の中「東京光の家」が、二九年間という長きに亘って実施されておられるチャリティコンサートは地域社会における素晴らしい福祉貢献活動であり、地域住民の心の灯火でもあります。何時までも続いていって欲しいと願っています。

地域は、高齢者、障害者、子どもといった世代や背景が異なる人々が集い、ともに参加できる場です。地域づくりを推進するにも「安心して生活ができる」ことが基本ですから決して他人事とは思わず「自分事」として行事等に参加することが大

事です。今日、地域社会は少子高齢化の影響で人口の減少が進んでいます。結果として、地域力は劣り、住民同士の繋がりも弱まっており、他人の困りごと

域における公益的な取組み」を、今後どう進めていくのか。

とに気づいても何もできないという現象がでている地域もありますし、「社会的孤立」や公的支援を受けられない「制度の狭間のニーズ」問題等が表面化してきている要因にもなっています。住民が世代や背景を超えてつながり、相互に支え合う取組を育んでいくことが、様々な困難を抱えた場合でも社会から孤立せず、安心して生活を送ることができる地域共生社会の実現に不可欠であると思っています。また、地域には「困っている課題を解決したい」という気持ちで活動されている福祉関係者もいるので、その方たちとの繋がりを持つことも大切です。一方、社会福祉法人には、福祉課題への積極的な取組みが求められています。改正社会福祉法で責務と定められた「地

日野市社会福祉協議会では、これまで「制度の狭間」問題等の解決に取り組んできていますが、住民に身近な圏域で分野を超えて『こんな地域にしたい、こんな取組をしたい』という考えで、平成二八年四月に「地区社協」を設置しました。また、住民の困りごとや、心配ごとなどにも耳を傾けられる交流の場として「サロン」を市内各地域に設置してきていますが、住民の繋がりが高まることを期待し、今後も増設していく予定です。さらに、市内に存在する社会福祉法人や福祉施設との連携・協働で公益的な取組を実施することを目的として、現在ネットワーキ化を進めています。社会福祉法人の活動は分野ごとに異なっていますが、地域社会の一員として地域づくりに積極的に取組み、住民のニーズには柔軟に対応していくことが必要であると思っています。

# 第四〇回 チャリティーバザー

平成二九年一〇月九日(月) 体育の日  
旭が丘東公園・光の家ヒロティ



今年も例年同様、体育の日  
にチャリティーバザーが行われ  
ました。今回は第四〇回とい  
う区切りの年の開催でした。初め  
は提供品が近年以上に少ない状  
況でしたが、九月になると徐々  
に品物も集まり、何とか開催日  
を迎えることが出来ました。バ  
ザー当日はとてよい天候に恵  
まれ、沢山のお客様が来場され

大盛況でした。そして、何とか  
売上目標四〇〇万円を達成する  
ことができ安堵すると共に、皆  
様のご協力あつてのバザーだと  
改めて感じました。このチャリ  
ティーバザーは、四〇年毎年行っ  
てきた地域に根付いた行事です。  
今後も五〇回、六〇回と継続出  
来るようにと思っております。  
(バザー委員会 小林 貴寿)



保護者コーナーも盛況でした!



籐細工や手芸の作業作品を販売しました



模擬店では焼き鳥やイカ焼きも販売しました



喫茶コーナーでは正秋さんも演奏しました



墓石に手をあて祈りを捧げる田中理事長

毎年八月の恒例であります  
東京光の家の墓参を執り行いま  
した。現在、お墓には創立者の  
秋元梅吉先生、六年前に召天  
された田中ノゾミ名誉顧問をは  
じめ、多くの利用者の皆さんが  
埋葬されています。田中亮治理  
事長列席の元で墓前礼拝を通  
し、一同で故人を偲び、天国へ  
の望みを新たにしました。

光の家のお墓参り  
神は愛なり  
平成二九年八月七日(月)  
日野市堂臺地

光バンドチャリティーコンサート

# 2017 愛のサウンドフェスティバル



あなたが私を愛してくれた あなたがいたから私は生きている  
音楽がある限り、奏でよう感動と勇気のサウンド  
Let's play together

—いのち—

# Life

2017 9/23 日 ひの煉瓦ホール [日野市民会館]





## 光バンド

### 「愛のサウンドフェスティバル」 実施のご報告

今年度の愛のサウンドフェスティバルは「Lifeのち〜」と題し、地元日野市にございます「ひの煉瓦ホール（日野市民会館）」に於きまして開催させて頂きました。当日は大坪冬彦日野市長のご臨席を賜わり、また、今年も非常に多くのお客様にご来場頂き、利用者・職員一同、心より感謝申し上げます。

今回初めての演出として、以前から光の家で活動が続けてきた聖歌隊と光バンドの共演を企画いたしました。総勢約五〇名の出演者達が彩る東北震災支援のテーマ曲である『花は咲く』を合唱したステージは大変壮大で迫力があり、まさに「いのち」の題に相応しい活き活きとしたコンサートとして成功裡に幕を下ろすことができました。

メンバーや聖歌隊は皆この日の為に練習に励み、またそれを職員がサポートして参りました。出演者全員がそれぞれに障害を負いながらも、日々輝きを持って充実した生活を送り、また積極的に地域社会との共生を目指す一環として、本音楽会では福祉協力券売上の一部を日野市社会福祉協議会の奥住日出男会長に贈呈させて頂きました。

来年光バンドは結成三〇周年を迎えます。これからも地域の皆様、応援して下さい。今後日々精進して参ります。どうぞこれからも引き続き皆様からの変わらぬご支援を頂けますよう何卒お願い申し上げます。

（文化活動委員会 山田 裕基）

障害者  
美術の祭典 **アール・ブリュット立川二〇一七**  
 平成二九年一〇月一日(日)～一二月七日(火)  
 伊勢丹立川店・なみき画廊を中心に立川市内全八会場

今年で三回目になる障害者 多く展示されました。



アール・ブリュット展のオープニングで演奏する光バンド

美術展が立川市にて開催されました。アール・ブリュットとは障害者美術を意味するフランス語で、この美術展のタイトルになっています。本会場となる伊勢丹立川店、なみき画廊の他、多摩都市モノレール各駅の展示スペースや子ども未来センターに、約一ヶ月にわたって、多摩地域の障害者の方々の作品が数



正面入口に光の家利用者の作品が飾られました (立川伊勢丹)

立川市長も出席した開会式では光バンドの演奏が行われ、光の家新生園の利用者が作業訓練で作った陶芸や籐細工、手芸作品が美術展を彩りました。基本的に展示作品を触ることはできませんが、新生園の作品は見るだけでなく手でふれて、触覚でも作品を鑑賞して頂きました。



どこまで入ったかな？

澄み渡る秋空の下、小さな子供を連れたお父さん・お母さんや、小学生・中学生、ご年配の方まで幅広い層のお客様が御来場されました。アイマスクを付け、自分で飲み物を注ぐ喫茶体験やビーズ付き髪留めやメモ帳作りの作業体験、卓球体験、



点字ってこう書くんだ！

帳作りの作業体験、卓球体験、意見が多く頂けました。また、暮らしやすくする為の道具の紹介も興味を持って質問しながら触れておりました。今後も地域の皆様に視覚障害者に対する理解を深めていただく為にも活動を続けて参ります。(地域貢献活動室 前田 良)

第7回  
**光の家オープンハウス**  
 ～見ええない人のくらし～  
 平成二九年九月九日(土)  
 光の家地域交流センター

物当てクイズ、点字体験と数多くの体験を時に真剣に、時に笑顔で楽しんで頂きました。やはり見ええない状態での動きは大変であったという意見が多かったですが、新鮮な体験で楽しかった、またやりたいなど前向きな意見が多く頂けました。また、

# 運動の秋

新生園 レクリエーション大会  
神愛園 小運動会  
みんなといっしょの運動会

一〇月一七日(火) 光の家講堂  
一〇月三二日(火) 光の家講堂  
一〇月一日(日)  
中央大学第三体育館アリーナ

今年も運動の秋を迎え、光の家でも恒例の運動会が開催されました。光の家新生園の運動会は雨天の為、規模を縮小して屋内で開催し、光の家神愛園の小運動会はハロウィン当日だった為、仮装して競技を楽しみました。また、日野市の「みんなといっしょの運動会」にも各施設から利用者が参加し、運動の秋を満喫しました。



パンはドコ?ドコ? (新生園)



ハロウィン仮装で応援します! (神愛園)



まっすぐ玉転がすのは難しいです!?  
(みんなといっしょの運動会)



眼の病気についてお話される石綿医師

## 眼科医による

### 職員研修の実施

平成二九年一〇月二六日(木)  
光の家講堂

当法人の篠崎友照理事のご提案と、相澤忠二理事のご尽力を得て、光の家で初めての眼科医による職員研修が開催されました。全職員が集まる中、「いわた眼科」の石綿丈嗣院長より、緑内障等の眼疾患やロービジョンケアについての講演が行われ、医療面から視覚障害について学び、専門性の向上を図る貴重な機会となりました。

### 寄付者名簿

平成二九年七月六日  
一〇月五日

佐藤農園様	メロン	一七kg
河村 正様	米	五四kg
浅石 常勝様	メロン	一二kg
渡邊 幹男様	梨	一三kg
井川 幸雄様	梨	三〇kg
松田 功様	梨	六〇kg
西塚 吉典様	桃	四kg
	マスカット	四kg
	ぶどう	四・五kg
赤津 晃子様	サブレ	一二箱
	せんべい	二〇袋
	ジュース	六〇缶
	どら焼き	一二袋
宮洞 真様	梨	一〇kg
米倉 清治様	米	五四kg
船橋 敬様	アボカド	四八個
中田 弘様	じゃがいも	八kg
	かぼちゃ	七kg
島田 英樹様	梨	一五kg
綾木 潔様	梨	四〇kg
吉村 知枝様	さつまいも	五kg
平野 英夫様	コーヒ:紅茶他	一五箱
	スープ	一五〇袋
	ソース	二本

※紙面の写真は、すべてご本人の許可を得て掲載させて頂きました。

自衛消防活動審査会

光の家自衛消防隊 男子隊準優勝

女子隊敢闘賞に輝く

平成二九年九月二五日（金） 日野市万願寺中央公園グラウンド

日野消防署管内の事業所による自衛消防活動審査会が行われ、東京光の家からは、男子隊のAチームと女子隊のBチームが「2号消火栓の部」に出場しました。今年練習の時間があまりとれない中でしたが、本番では男女各隊ともに心技体のそろった素晴らしい操法を見せ、男子隊は準優勝、女子隊は敢闘賞に輝きました。



無事に有終の美を飾ることができました



息の合った女子隊Bチーム！



惜しくも準優勝の男子隊Aチーム！

採れたて野菜 直行便！



就労ホームの中には、レストラン部門と作業部門がありま... 業があります。農家出身の職員は... 者と共に試行錯誤。現在、秋野菜の収穫が始まりました！採れたての野菜は、レストラン部門のランチにも使用されたり、店頭でも販売中。地域の方々にも好評です。是非覗いてみてください！



今年も大収穫♪

くあとがき

木々の葉も見事に色づく季節となりました。

さて、今回一九四号をお届けさせて頂きました。

今回の外部寄稿は日野市社会福祉協議会の奥住会長にご寄稿頂き「光バンドの愛のサウンドチャリティコンサートは地域住民の心の灯火である」という大変有難いお言葉を頂きました。

また、今後の「地域共生社会の実現」に向けて社会福祉法人が「公益的な取組み」が出来るようネットワーク化を進め、地域づくりに参画し、地域住民のニーズに柔軟に対応していくことの大切さを教えて頂きました。

今後、東京光の家もこのような考え方に基づいて地域社会に貢献していきたいと考えておりますので宜しくお願ひ申し上げます。

(常務理事 石渡 健太郎)

発行 〒一九一〇〇六五  
東京都日野市旭が丘一七  
社会福祉法人 東京光の家  
電話 〇四二(五八)二三四〇  
FAX 〇四二(五八)九五六八